

2016world rowing cup 1 – varese

Report2

(4/9)

[行動スケジュール]

07:00 朝食

08.30 ホテル出発（～コース）

11.30 コース出発（～ホテル）

12:00 昼食

（本日より、トレーニングは、午前のみ）

18:30 夕食

（トレーニングの様子）







(4/10)

[行動スケジュール]

- 07:00 朝食

08:30 ホテル出発（～コース）

11:30 コース出発（～ホテル）

12:00 昼食

大林 HC、榊田 C は、コースに戻って、艇とオールの調整

18:30 夕食

1 トレーニング

- トレーニング（乗艇練習）は、昨日から、午前中のみとなり、レースの準備段階に入ります。

今日のトレーニングカテゴリは「B4」。

トレーニングの結果（500m 毎のラップタイム）は、練習後、直ぐに、大林 HC から、日本に居る Xavier コーチにも共有されました。

2 ウォーミングアップ・ルーム

- 今後、乗艇練習が午前中だけになり、選手がホテルに滞在する時間が長くなります。ホテルに相談して、本日より、日本チームの滞在期間中、自由に使用できるスペース（会議室）を確保することができました。

これにより、

- ・選手が、自分のペースで、ストレッチングなどをできる、また、
- ・乗艇練習前のウォーミングアップ（の一部）を、湖に向かう前にホテルで行なえる

ホテルからレース会場までの30分以内で移動できるので、こうしたことも可能になります。尚、ホテルとレース会場の移動距離は、距離だけでなく、交通事情、また、JARA によるチャーターバスと、OC 提供のバスによっても、違ってくるので、現地でのこうした調整は、今後重要な要素になります。

3 荒川選手のシューズ

- 6人の選手の中で、唯一、荒川選手のシューズのサイズが合わなかったため、艇を受け取った後、Filippi に依頼し、本日、コースで新しいシューズを受け取ることができ、明日のトレーニングから、使用できます。これも、Filippi のレスポンスの良さに助けられました。

4 レガッタ

- ホテル（Barza）から、ヴァレーゼ湖（Lago di Varese）に行く途中にあるモナーテ湖（Lago di Monate）で、本日（4月10日、日曜日）、大会が開催されていました。これまで、ヴァレーゼ湖に通う途中で、ここにローイングクラブがあることは認識していましたが、ヴァレーゼのように大きな公園となっているわけでもなく、幹線道路（SP36）から直ぐに湖面が見通せるようなところに、ボートに乗せたトレーラーが数珠つなぎ状態となっていました。大会時間中は、道路の片側を駐車スペースにしている様子です。午後、大林 HC、榊田 C が視察して帰りました。

どういうレベルの大会か、まだ確認できてはいませんが、レース当日、艇を運んで来て、そのままレースをしてしまうようです。こういう大会運営に負荷のかからない方法、と同時に、選手には、ある程度の「タフさ」を要求するような大会も、国内で考えていいかもしれない。

今後、幾つかの地方で選考レースを行なうことを考えるときには、運営方法として、こういうのも参考にしたい。



5 中上さん合流

- 本日、中上さんが、4月7日のチームと同じフライトで、合流しました。明日から、チームマネジメントを崎山から引き継ぎます。

以上 文責 崎山